

平成29年度

事業報告書

一般財団法人 電気技術者試験センター



# 平成29年度事業報告書

## (概要)

本年度は、電気主任技術者試験で7万6千人(対前年度2,100人減)、電気工事士試験で19万9千人(対前年度3,500人減)の受験申込みがあり、予定どおり、それぞれ、延べ3日、7日試験を実施した。

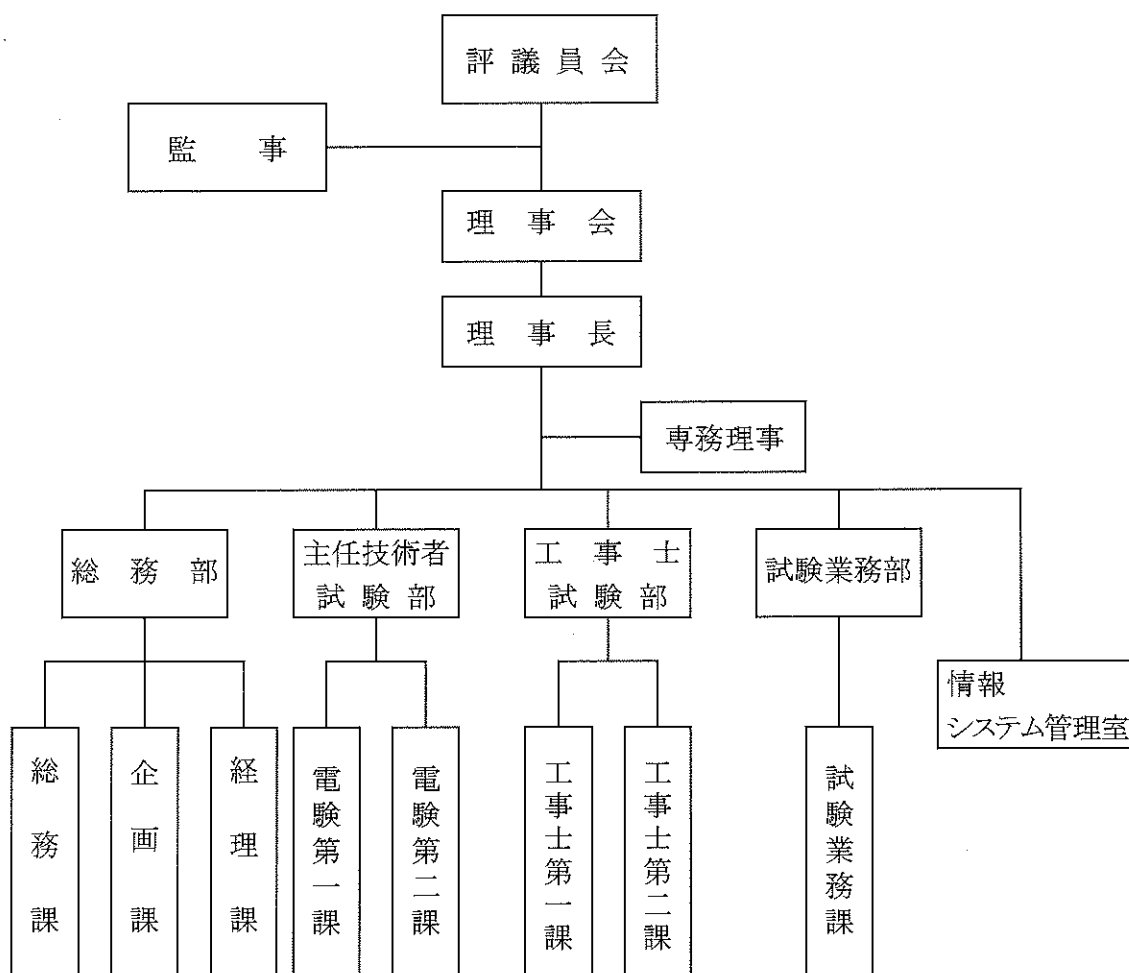
公益目的事業については、「公益目的支出計画」に基づき、「電気技術者に関する調査研究事業」及び「電気技術者資質向上事業」の2事業を実施した。

電気主任技術者試験の合格者に対する免状の交付事務を引き続き実施するとともに、広報活動等を実施した。

## 1. 組織等

### (1) 組織

本年度は、以下の組織によって業務を遂行した。



## (2) 役員

平成30年3月31日現在の役員(理事及び監事)は、次のとおりである。

理事長(常勤)	岡村 繁 寛	
専務理事(常勤)	田 辺 正 美	
理事(非常勤)	大 山 力	(横浜国立大学大学院 教授)
理事(非常勤)	小野田 聡	(電気事業連合会 専務理事)
理事(非常勤)	古 澤 宏	(一般社団法人日本電気協会 専務理事)
理事(非常勤)	本 多 隆	(一般財団法人関東電気保安協会常務理事)
理事(非常勤)	米 澤 寛	(全日本電気工事業工業組合連合会 会長)
理事(非常勤)	渡 邊 信 公	(関東職業能力開発大学校 校長)
監 事(非常勤)	江 連 正一郎	(東京電力パワーグリッド(株)常務取締役)
監 事(非常勤)	喜 入 敏 彦	(全国電気管理技術者協会連合会 常任理事)

(非常勤理事名及び監事名は五十音順に記載)

## (3) 職員等

平成30年3月31日現在の職員等の人数は、次のとおりである。

職 員 27名

臨時職員 2名

地方連絡調整員 13名

派遣社員等 受験申込受付期間を中心に、受付、電話対応等の受験者対応等業務に延べ1,273人の派遣社員が従事した。また、免状交付業務に延べ74人の派遣社員が従事した。

## 2. 理事会及び評議員会の開催

理事会及び評議員会を次のとおり開催した。

### (1) 第16回理事会：平成29年6月1日開催

議題「平成28年度事業報告、決算報告について」(決議)

「平成28年度公益目的支出計画実施報告について」(決議)

「第11回評議員会(臨時)、第12回評議員会(定時)の日時及び場所並びに目的である事項について」(決議)

### (2) 第11回評議員会(臨時)：平成29年6月14日開催

議題「理事及び監事の選任について」(決議)<sup>(注)</sup>

### (3) 第12回評議員会(定時)：平成29年6月28日開催

議題「平成28年度事業報告、決算報告について」(決議)

「平成28年度公益目的支出計画実施報告について」(報告)

### (4) 第17回理事会：平成29年6月28日開催

議題「理事長(代表理事)及び専務理事選定について」(決議)

- (5) 理事会書面提案：平成29年9月26日みなし決議  
議題「臨時評議員会の目的である事項の書面提案の件」
- (6) 臨時評議員会書面提案：平成29年11月1日みなし決議  
議題「評議員選任の件」
- (7) 第18回理事会：平成30年3月5日開催  
議題「平成30年度事業計画、収支予算について」(決議)

(注) 役員の選任にあたっては、従来から、役員候補者をチェックしその結果を評議員会に具申することを目的に、外部有識者3名(弁護士、消費生活コンサルタント、報道関係者)及び国家公務員出身者を除く評議員2名による役員候補者選考会を事前に開催し、その選考結果を評議員会に報告し選任決議をしてきた。

今期は、選考過程の透明性を一層確保するため、常勤役員については、広く公募を行ったうえ同選考会で審議・選考を行った。また、非常勤役員候補者については、理事長から提案のあった候補者リストに基づき同選考会で審議・選考を行った。

### 3. 入札審査委員会の開催

入札審査委員会を次のとおり開催した。

第1回：平成29年11月1日  
「平成30年度電気工事士技能試験用材料の入札方針について」

第2回：平成30年1月12日  
「平成30年度電気工事士技能試験用材料の入札結果について」

#### 4. 試験の申込み

##### (1) 平成29年度試験の申込状況

(単位：人)

試験の種類		26年度	27年度	28年度 a	29年度 b	前年度差 b-a
電気主任技術者試験	第一種	2,219	2,106	2,129	2,093	△ 36
	一次試験申込者	1,916	1,844	1,801	1,821	20
	一次試験免除者	303	262	328	272	△ 56
	第二種	9,535	9,161	9,384	9,225	△ 159
	一次試験申込者	8,225	7,871	8,080	8,077	△ 3
	一次試験免除者	1,310	1,290	1,304	1,148	△ 156
	第三種	68,756	63,694	66,896	64,974	△1,922
	合計	80,510	74,961	78,409	76,292	△2,117
	<hr/>					
電気工事士試験	第一種	49,089	50,393	50,203	51,973	1,770
	筆記試験申込者	45,126	43,611	45,054	44,379	△ 675
	筆記試験免除者	3,963	6,782	5,149	7,594	2,445
	第二種	141,889	152,925	152,761	(注)147,454	△5,307
	筆記試験申込者	121,305	133,909	130,166	127,129	△ 3,037
	筆記試験免除者	20,584	19,016	22,595	20,325	△ 2,270
	合計	190,978	203,318	202,964	199,427	△ 3,537
<hr/>						
総計	271,488	278,279	281,373	275,719	△ 5,654	

(注)第二種電気工事士試験申込み内訳

上期 92,860人(28年度 97,983人) 下期 54,594人(28年度 54,778人)

上期：下期の申込比率 63：37(28年度 64：36)

##### (2) 受験申込受付業務

郵便申込みとインターネット申込みによる受付を行った。本年度のインターネット受付数の全受付数に占める比率は、電気主任技術者試験で91%、電気工事士試験で77%となり、電気主任技術者試験、電気工事士試験ともに昨年度に比べ1~2ポイント上昇した。

また、平成21年度から開始したインターネットによる団体受付(2名以上の一括申込みが可能)のインターネット受付に占める比率は、電気主任技術者試験で4%(昨年度4%)、電気工事士試験で17%(昨年度14%)であった。

(単位：%)

		平成28年度	平成29年度
電気主任技術者試験	郵便申込	10	9
	ネット申込	90	91
電気工事士試験	郵便申込	25	23
	ネット申込	75	77

インターネット申込みによる受験手数料の支払い方法の利用比率は、以下のとおりであった。

(単位：%)

	電気主任技術者試験	電気工事士試験
銀行振込	25	41
コンビニ決済	31	33
クレジットカード	43	25
Pay-easy決済	1	1

## 5. 電気主任技術者試験の実施

### (1) 電気主任技術者試験委員会の活動

#### ① 第一種・第二種電気主任技術者試験委員会

##### (イ) 試験委員会

- ・ 第48回試験委員会：平成29年10月4日開催  
主要議題「平成29年度一次試験の合否の決定について」  
「平成30年度試験問題作成委員の決定について」
- ・ 第49回試験委員会：平成30年1月25日開催  
主要議題「平成29年度二次試験の合否の決定について」

##### (ロ) 部会

試験問題の決定を行う部会を、理論：6月30日、電力：6月29日及び8月2日、機械：5月31日及び8月15日、法規：6月6日及び8月16日にそれぞれ開催した。

試験問題の作成に関し、科目間調整及び第一種、第二種間の調整を行うことを目的に、4科目合同部会を1回開催した。

##### (ハ) 小委員会等

試験問題を検討するため、理論、電力、機械及び法規の各科目別小委員会を計14回開催し、分科会を計9回開催した。

##### (ニ) レビュー委員によるレビュー

小委員会において検討が終了した試験問題案について、各科目2回ずつレビューを実施(1回目延べ17人、2回目延べ17人)した。

② 第三種電気主任技術者試験委員会

(イ) 試験委員会

- ・ 第55回試験委員会：平成29年10月5日開催  
 主要議題「平成29年度試験の可否の決定について」  
 「平成30年度試験問題作成委員の決定について」

(ロ) 部会

試験問題の決定を行う部会を、理論：6月22日、電力：6月14日、機械：6月23日、法規：6月16日にそれぞれ開催した。

試験問題の作成に関し、科目間調整を行うことを目的に、4科目合同部会を1回開催した。

(ハ) 小委員会等

試験問題を検討するため、理論、電力、機械及び法規の各科目別小委員会を計12回開催し、分科会を計3回開催した。

(ニ) レビュー委員によるレビュー

小委員会において検討が終了した試験問題案について、各科目2回ずつレビューを実施(1回目延べ10人、2回目延べ9人)した。

③ 試験問題作成における透明性確保の観点から、試験問題の作成に直接携わった委員の氏名をホームページで公表した。

(2) 電気主任技術者試験の実施

(単位：人)

試験区分	試験日	試験地数 (会場数)	受験者数 (昨年度増減)	合格者数 (昨年度増減) (注1,2)	合格率(%) (昨年度増減) (注3)	監督員 等数 (注4)	
第一種	一次試験	9月2日(土)	10(10)	1,567 (48)	363 (32)	23.2 (1.4)	420
	二次試験	11月19日(日)	10(10)	569 (△12)	86 (11)	15.1 (2.2)	228
第二種	一次試験	9月2日(土)	10(13)	6,570 (49)	1,737 (281)	26.4 (4.1)	572
	二次試験	11月19日(日)	10(11)	2,435 (71)	329 (△130)	13.5 (△5.9)	256
第三種 のみ	一次試験 のみ	9月3日(日)	36(74)	45,720 (△832)	3,698 (△282)	8.1 (△0.4)	3,643
合計				56,861 (△676)	4,113 (△401)		

注1：合格者数には、「科目合格者」は含まない。

注2：合格者数計は第一種及び第二種の二次試験合格者数並びに第三種の合格者数の計である。

注3：合格率は合格者数/受験者数、昨年度増減の単位はポイント

注4：監督員等数には、監督員の他、会場正副責任者、監督補助員、会場本部事務員を含む。



### (3) 試験実施業務の委託

会場設営、試験監督等の試験実施業務は、(株)全国試験運営センターに委託して実施した。

また、委託業務の円滑な実施のため、各試験の実施について、(株)全国試験運営センターと定期的な打合せを行った。

## 6. 電気工事士試験の実施

### (1) 電気工事士試験委員会の活動

#### ① 第一種電気工事士試験委員会

##### (イ) 試験委員会

- ・ 第100回試験委員会：平成29年6月15日開催  
主要議題「平成29年度試験問題の決定について」
- ・ 第101回試験委員会：平成29年10月19日開催  
主要議題「筆記試験の合否の決定について」
- ・ 第102回試験委員会：平成29年12月18日開催  
主要議題「技能試験の合否の決定について」
- ・ 第103回試験委員会：平成30年3月15日開催  
主要議題「平成30年度技能試験候補問題の決定について」

##### (ロ) 小委員会等

試験問題を検討するため、筆記試験(3回)及び技能試験(4回)の各小委員会を計7回開催した。

コメンテーター・問題作成委員調整会を筆記試験科目について1回開催した。

##### (ハ) レビュー委員によるレビュー

筆記試験科目：小委員会における検討の後、3人の委員で2回、印刷初稿段階において3人の委員で1回、計3回実施した。

技能試験科目：小委員会における検討の後、3人の委員で1回、印刷初稿段階において2人の委員で1回、計2回実施した。

#### ② 第二種電気工事士試験委員会

##### (イ) 試験委員会

- ・ 第116回試験委員会：平成29年6月21日開催  
主要議題「平成29年度上期筆記試験の合否の決定について」
- ・ 第117回試験委員会：平成29年8月9日開催  
主要議題「平成29年度上期技能試験の合否の決定について」
- ・ 第118回試験委員会：平成29年10月18日開催  
主要議題「平成29年度下期筆記試験の合否の決定について」
- ・ 第119回試験委員会：平成29年12月18日開催  
主要議題「平成29年度下期技能試験の合否の決定について」  
「平成30年度技能試験候補問題の決定について」

- ・ 第120回試験委員会：平成30年2月5日開催  
主要議題「平成30年度試験問題の決定について」

(ロ) 小委員会等

試験問題を検討するため、筆記試験(3回)及び技能試験(1回)の各小委員会を計4回開催した。

筆記試験問題の配線図を検討するため、分科会を2回開催した。

コメンテーター・問題作成委員調整会を筆記試験科目について1回開催した。

(ハ) レビュー委員によるレビュー

筆記試験科目：小委員会における検討の後、3人の委員で2回、印刷初稿段階において3人の委員で1回、計3回実施した。

技能試験科目：小委員会における検討の後、1人の委員で2回、印刷初稿段階において3人の委員で1回、計3回実施した。

- ③ 試験問題作成の透明性の確保の観点から、試験問題の作成に直接携わった委員の氏名をホームページで公表した。

(2) 電気工事士試験の実施

① 第一種電気工事士試験

(単位：人)

試験区分	試験日	試験地数 (会場数)	受験者数 (昨年度増減)	合格者数 (昨年度増減) (注1)	合格率(%) (昨年度増減) (注2)	監督員 等数 (注3)	判定員数
筆記試験	10月1日(日)	17(46)	38,427 (△586)	18,076 (△1,551)	47.0 (△3.3)	2,519	—
技能試験	12月3日(日)	17(27)	24,188 (511)	15,368 (766)	63.5 (1.8)	1,770	521
合 計			62,615 (△75)	15,368 (766)			521

② 第二種電気工事士試験

(単位：人)

試験区分		試験日	試験地数 (会場数)	受験者数 (昨年度増減)	合格者数 (昨年度増減) (注1)	合格率(%) (昨年度増減) (注2)	監督員 等数 (注3)	判定員数
上 期	筆記 試験	6月4日(日)	57(97)	71,646 (△3,091)	43,724 (△4,973)	61.0 (△4.2)	4,481	---
	技能 試験	7月22日(土) 7月23日(日)	56(94)	55,660 (△6,848)	39,704 (△6,613)	71.3 (△2.8)	3,858	1,072
下 期	筆記 試験	9月30日(土)	14(50)	40,733 (942)	22,655 (4,202)	55.6 (9.2)	2,830	---
	技能 試験	12月2日(土)	14(35)	25,696 (3,399)	16,282 (383)	63.4 (△7.9)	1,860	538
筆記試験計				112,379 (△2,149)	66,379 (△771)	59.1 (0.5)		---
技能試験計				81,356 (△3,449)	55,986 (△6,230)	68.8 (△4.6)		1,610
合計				193,735 (△5,598)	55,986 (△6,230)			1,610

注1：合格者数計は技能試験合格者数の計である。

注2：合格率は合格者数/受験者数、昨年度増減の単位はポイント

注3：監督員等数には、監督員の他、会場正副責任者、監督補助員、会場本部事務員を含む。

(3) 技能試験候補問題の公表

第一種電気工事士技能試験については候補問題10問を平成29年4月3日に、第二種電気工事士技能試験については候補問題13問を平成29年1月16日に、それぞれ公表した。

(4) 電気工事士技能試験における「欠陥の判断基準」の公表

技能試験の合否判定の基準となる「欠陥の判断基準」を公表した。これと併せて、技能試験の受験において理解してもらいたい要点をまとめた「技能試験の概要と注意すべきポイント」を作成し、周知・広報を行った。

(5) ふりがな(ルビ)付き試験問題の実施

本年度から、受験者からの申請に基づき、筆記試験、技能試験ともに、ふりがな(ルビ)を振った試験問題で受験出来るようにした。

(6) 試験実施業務の委託

会場設営、試験監督等の試験実施業務は、(株)全国試験運営センターに委託して実施した。

また、委託業務の円滑な実施のため、各試験の実施について、(株)全国試験運営センターと定期的な打合せを行った。

(7) 連絡調整員の配置

電気工事士技能試験の判定業務に関する登録判定員の確保、試験会場別の判定員の選定・配置、試験会場の事前確認、試験当日の試験実施状況の把握及び判定員研修会の支援等を行うため、昨年度に引き続き全国9地区に13名の連絡調整員を配置した。

(8) 判定員研修の実施

電気工事士技能試験における判断基準の改訂に伴い、その周知徹底を図るため、登録判定員全員(1,134名)を対象として、判定員研修会を9地区(札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡)で実施した。

(9) 自然災害等に伴う特別措置

平成29年6月7日から7月27日までの間の豪雨及び暴風雨により、九州北部が甚大な被害を受け、激甚災害指定の閣議決定がなされたことに伴い、以下の特別措置を実施した。

・対象試験

平成29年度第二種電気工事士上期技能試験

・措置内容

激甚災害の適用地区(福岡県朝倉市、朝倉郡東峰村及び田川郡添田町並びに大分県日田市の4市町村)に在住の受験申込者5名を対象に、電気工事士試験事務規程に基づき、筆記試験免除期間の延長及び収納済手数料を次回以降に充当する代替措置を講じた。

(10) 電気工事士試験の実施方法変更への対応

受験者の利便性の向上を図るため、平成30年度から、電気工事士試験の実施方法を以下のように変更することとした。試験の実施方法の変更を踏まえ、電気工事士試験事務規程を改正し、平成29年11月16日付で経済産業大臣から認可を得た。

29年度は、この変更に対応するため、システムの改修を行うとともに、ホームページやリーフレット等を用いて幅広く周知を行った。

[変更内容]

・第二種電気工事士試験の受験機会の拡大

これまで、第二種電気工事士試験は、当該年度の上期試験又は下期試験のいずれか一方しか受験できなかったが、上期試験、下期試験のいずれも受験できるようにし、受験機会を年1回から2回に拡大する。

・試験地の拡大

これまで、第一種電気工事士試験、第二種電気工事士下期試験の試験地は地域ブロック単位で設けていたが、第二種電気工事士上期試験の試験地と同様に、47都道府県の全てに設ける。

## 7. 電気事業法に基づく電気主任技術者免状の交付事務

電気事業法第44条の2第1項の規定に基づき、電気主任技術者試験合格者からの申請に基づき、電気主任技術者免状の交付を行った。

試験合格者からの申請を受けて本年度中に交付した免状は、第一種が149件、第二種が730件、第三種が3,706件であった。

## 8. 情報システムの活用と充実

### (1) 情報システムの改修

平成30年度からの電気工事士試験の実施方法の変更に対応するため、機械処理システム及びEMS(試験当日の実施運営に係る危機管理システム)のシステム改修を行った。

### (2) 情報システムに係るセキュリティ強化

電気技術者試験のインターネット受付システムにおいて、クレジットカード情報のセキュリティをより一層強化するため、システム改修を行った。

## 9. 公益目的事業について

公益目的支出計画に基づき、「電気技術者に関する調査研究事業」及び「電気技術者資質向上事業」の2事業を実施した。

### (1) 電気技術者に関する調査研究事業

#### ① 電気技術者試験受験者実態調査

本年度の受験申込者を対象に、新規申込者の実態把握を目的とした調査を実施し、調査結果を報告書としてまとめ、公表した。

<調査の実施方法等>

(イ) 「電気主任技術者試験(一～三種)」インターネット受験申込時アンケート調査

・平成29年5月22日～6月7日、回答者数 約67,900人

(ロ) 「第一種電気工事士筆記試験」インターネット受験申込時アンケート調査

・平成29年7月5日～7月19日、回答者数 約34,600人

(ハ) 「第二種電気工事士筆記試験」インターネット受験申込時アンケート調査

・平成29年3月15日～4月5日(上期)平成29年6月15日～6月28日(下期)

回答者数 約95,200人

#### ② 電気技術者活動実態調査

(イ) 電気技術者試験に合格し、資格取得後に様々な分野で活躍する電気技術者の具体的な活動内容について、インタビュー取材等を通じた調査を実施した。また、「ロボット設備の現場からみえる新しい電気技術者の活躍のカタチ」をテーマに、技術者によるトークセッションを実施した。

(ロ) 諸外国における電気の保安体制、電気技術者の技術・技能の維持・向上策等について、フィリピンを対象に調査を実施した。また、海外調査開始から5年が経過していることから、初回調査以降の変化等についてインドネシアを中心にフォローアップ調査を行った。

③ 調査報告の公表

調査結果については、ホームページ上に公表した。

(2) 電気技術者資質向上事業

支援先をホームページ上で公募したところ、10件の応募があり、「電気技術者資質向上アドバイザー委員会」の審議を経て、以下の事業を支援先として採択した。また、事業実施状況をホームページ上に公表した。

- ①第17回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門  
(主催：北海道工業高等学校長会)
- ②平成29年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会(第17回全国大会プレ大会)電気工事部門  
(主催：平成29年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会(第17回全国大会プレ大会)電気工事部門 実行委員会)
- ③高校生ものづくりコンテスト2017東北大会【岩手大会】電気工事部門  
(主催：東北地区工業高等学校長会)
- ④第17回高校生ものづくりコンテスト近畿大会(電気系部門)  
(主催：近畿地区電気教育研究会)
- ⑤第16回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト山梨大会兼第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門関東予選会  
(主催：関東甲信越地区電気教育研究会)
- ⑥第24回配電工事安全技能競技会  
(主催：北陸電気工事組合連合会)
- ⑦第3回関西電気工事工業会技能競技大会  
(主催：関西電気工事工業会)
- ⑧第34回引込および内線工事技能オリンピック大会  
(主催：中部電気工事協力会連合会)
- ⑨第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会(中国大会)電気工事部門  
(主催：第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会(中国大会)電気工事部門 実行委員会)
- ⑩第50回全九州技能競技大会  
(主催：一般社団法人全九州電気工事業協会)

電気技術者資質向上アドバイザー委員会を次のとおり開催した。

第1回：平成29年7月20日

「平成29年度電気技術者資質向上事業の採択について」

第2回：平成30年3月15日

「平成29年度電気技術者資質向上事業の実績報告について」

「平成30年度電気技術者資質向上事業の募集要項について」

10. 試験事業に関する周知広報等

(1) 情報の周知広報

電気技術者の資格制度・試験制度等を解説した「電気技術者試験のご案内」及び試験日程等を周知するためのリーフレット・ポスター等を製作し、周知広報に努めるとともに、ホームページにおいて、技能試験候補問題の事前公表、試験問題及び解答の公表等の試験関連情報はもとより、判定員の公募、一般競争入札の公告等外部向け情報の発信を積極的に行った。

また、平成30年度から電気工事士試験の実施方法を変更することとしたため、その変更内容について、ホームページやリーフレットによって周知広報に努めた。

(2) 受験者に対する対応

受験者からの問合せ、要望、苦情等に対して、迅速かつ誠実な対応を行うとともに、電気技術者試験の可否の結果について、パソコン及び携帯電話による検索サービスを行った。

また、試験終了後、試験問題とその解答をホームページに掲載した。

[参考]

試験合格者推移

(単位：人)

	電気主任技術者試験				電気工事士試験			合計
	第一種	第二種	第三種	小計	第一種	第二種	小計	
S60～H24 年度の計	1,228	6,629	118,990	126,847	184,954	979,524	1,164,478	1,291,325
25年度	96	282	4,311	4,689	15,083	64,000	79,083	83,772
26年度	75	350	4,102	4,527	11,404	57,751	69,155	73,682
27年度	105	297	3,502	3,904	15,419	59,441	74,860	78,764
28年度	75	459	3,980	4,514	14,602	62,216	76,818	81,332
29年度	86	329	3,698	4,113	15,368	55,986	71,354	75,467
合計	1,665	8,346	138,583	148,594	256,830	1,278,918	1,535,748	1,684,342

注1：第一種・第二種電気主任技術者試験は平成9年度より実施

注2：第一種電気工事士試験は昭和63年度より実施